

ふれあい長谷



長谷地域づくり
協議会発行
☎83-2718

ラジオ体操会&クイズ大会&

防災学習会の開催

ふれあい部長 田邊 伸

七月二十六日、長谷体育館でラジオ体操会&クイズ大会&防災学習会を開催いたしました。

猛暑の頃につき、運動場ではなく長谷体育館で行いました。

今回、私はふれあい部会の部長なので、早朝から他のメンバーとともに準備に追われていました。

初めてということもあり、上手くいくだろうかと不安でしたが、天候にも恵まれ準備は無事完了しました。

六時半からのラジオ体操、引き続きクイズ大会、そして防災学習と密でしたが、皆さん方のご協力により和やか、賑やかにできて終了しました。

この長谷小学校は、私の母校でもあるため、体育館でするラジオ体操は何か特別な思いを感じました。

最後に、子どもたちはクイズ学習会や、防災学習を経験でき、夏休みの良き一ページになったことと思います。

参加された皆さん、早朝よりありがとうございました。



美作大学社会福祉学科生の

研修視察から

センター長 加藤政男

七月二十七日に、美作大学社会福祉学科生が研修受講のため、ふれあい長谷に訪れました。

この研修視察は、美作大学の恒例の研修事業として、昔から引き継いでいます。

学生は、「長谷地域づくり協議会が福祉を充実した活動を進めている」ことにすぐ興味を持っています。

例えば、「長谷助け合い隊活動」は、正

に「助け合いを念頭におき活動している」ため、地域では貴重な存在に見えるそうです。また、「独居高齢者の慰問やシヤムの配布」もいいことだと感じているみたいでした。

皆さん、助け合い隊では「依頼を受けたら作業をしてやる」のではなく、困っている人がいたら助け合うという気持ちで依頼を引き受けています。

今、「縮充のまちづくり」が叫ばれていますが、大事なことは、一人一人が隣人をお願いするという気持ちを持ち続けることだと思います。そういう地域でありたいですね。



長谷納涼ふるさと祭りの御礼

協議会長 山下富雄

八月十四日、夕刻より長谷地区納涼ふるさと祭りを開催致しました。
昨今の異常気象により、雨に見舞われることが懸念されまして、長谷体育館での開催と致しました。

その上、各自治会の事情も踏まえて、今年度は踊りの櫓組みを取り止めて、夜店も希望出店にしました。結果、出店も半減しました。

少々寂しい雰囲気の中、やはり来場の出足が遅くて不安で一杯でした。

三〇四十分経過する頃に、次々と参加者の来場があり、四店舗の前が賑わい始めました。体育館のフロアに多数の輪が出来ている様にホッとする笑みを浮かべて、皆さんの輪を見つめて会釈をしていました。

子ども花火もオーケー、いよいよメインのシャントコ踊りが始まります。太鼓・唄い手の勢いを借りて、精一杯の掛け声で盛り上げようと始終踊りまくりました。子どもたちの参加も多く、一時、二重の輪が出来てくるくらいで楽しかったですね。

最後のクジ抽選会も、多くの子どもたちの当選があり、喜ぶ姿が最高でした。

思うに、夏の一夜、地域全体で楽しむ事の大切さを改めて実感したと共に、これは縮充の取り組みに必要不可欠のように思われました。

参加者は約二百名だったそうですが、参加いただいた皆様、役員及びご協力をいただいた方々に心より感謝致します。
ご参加頂いた全ての皆様、大盛況で今年の夏も終えられて、本当に有り難うございました。



ふるさと祭りを皆さんの力で盛り上げて!!

センター長 加藤政男

協議会長の挨拶にもあった通り、体育館で行っても盛況となりました。
参加者が約二百名、抽選会の当たりが30本で、六人に一人は賞品が当たる計算でした。

ちなみに、大会会長賞がテレビ、実行委員長賞がタワーファン（子どもが当たりました）でした。その他の賞品も一ケにつき、約三千円相当の太判振る舞いとなりました。来年は、多数の参加者でにぎわい、また、個人出店者も増やし、みんなの力で伝統行事を守っていきましょう。

バンマスからお願い

バンブーマウスでは9年前から「おすわけ米」と称して古米の販売をしています。

そこで長谷集落の皆様からお米の買取をさせて頂きたいです

30キロあたり

令和6年 古古米 2,000円

令和7年 古米 5,000円

令和8年 新米 10,000円

で買い取らせて頂きます。

余っているお米がありましたら是非ご連絡ください。

連絡先 福井 泉

090-1905-6034
までお願いします。

